

科目（講座名）	地理 A		2 単位	必修選択
教科書	高等学校 新地理 A（帝国書院） 標準高等地図（帝国書院）		担当教諭	
副教材	五訂版最新地理図表 G E O			

学習の目標

世界の人々の生活・文化に関する地域的特色とその動向について、自然環境及び社会環境と関連づけて多面的に理解し、国際社会を生きる地理的見方や考え方を体得する。

授業内容

1. 人々を取りまく環境について、地形・気候・産業を通して関連性を把握する。
2. 世界の諸地域の特色に関する諸事象の背景と問題点について理解する。
3. 地球的課題については、地域性に配慮しながら国際協力の観点で考察する。
4. 地域変容の諸事象について、防災など目的に合わせ分析する力を地図・統計作業により養う。

学習方法

1. 授業中は基本事項の理解に努め、疑問点は質問して解消しておく。
2. 作業課題は自ら調べて完成させ、地理的な技能を体得するチャンスとして生かす。
3. 新聞・ニュース・HP等から最新の地理情報を収集し、発展的理解に努める。

評価の観点

関心・意欲・態度	地理に対して関心を持ち、意欲的な態度で課題意識を高めることができる。
思考・判断	地理的事象から課題を見だし、地域性を踏まえた多角的な見方・考え方を身につける。
技能・表現	地図や統計など諸資料からの情報選択や活用を通して、地理的事象を分析することができる。
知識・理解	地理的な諸課題についての基本事項や追究方法を理解し、知識を身につける。

評価方法

地理学習の基本をおさえ、地理的な見方や考え方を身につけることができたか。下記の4つの観点から、総合的に評価を定める。

1. 定期考査
2. 授業中の課題
3. 長期休業中の課題
4. 授業中の参加状況

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	5	1-1. 地球儀や地図から捉える現代世界	地球上の位置と国家 グローバル化が進む社会	地球儀上の位置や時差の考え方を理解する。地図の特性や読図について、基本事項を理解する。 グローバル化の進展状況を把握する。 多様な自然環境について、その特徴と成因及び人間生活について理解する。
	5	8	1-2. 人間生活を取り巻く環境	人々の生活と地形	
	6	8		人々の生活と気候	
	7	5		人々の生活と産業	
2	9	5	1-3. 世界の諸地域の生活・文化	人々の生活と文化	自然環境と社会環境（宗教・政治・経済）との関わりを考察する。 近隣諸国の諸事情や日本との関わりについて、理解する。 諸地域の地理的位置や諸事情について理解する。 自然環境や多様な文化の形成の背景を地誌的にとらえる視点や方法を身につける。 地誌の単元の一部は、他の授業の中で指導する。
	10	9		中国 韓国	
	11	8		アジア（東南・南・中央・西） アフリカ ヨーロッパ（ロシア）	
	12	6		アメリカ（アングロ・ラテン）・オーストラリア	
3	1	5	1-4. 地球的課題と私たち	複雑にからみ合う地球的課題 世界の環境問題 世界の資源・エネルギー問題	国家の枠を超えて解決に向けて努力が必要な課題について理解を深め、自らの行動に生かせるよう促す。
	2	6		世界の人口問題 世界の食料問題	
	3	5	2-2 日本の自然環境と防災	諸災害と防災 (地域調査)	諸災害やその対策の観点から考察する。

※コロナ感染の影響・行事などの関係で、順序の入れ替え、一部の単元の未実施の可能性がある。